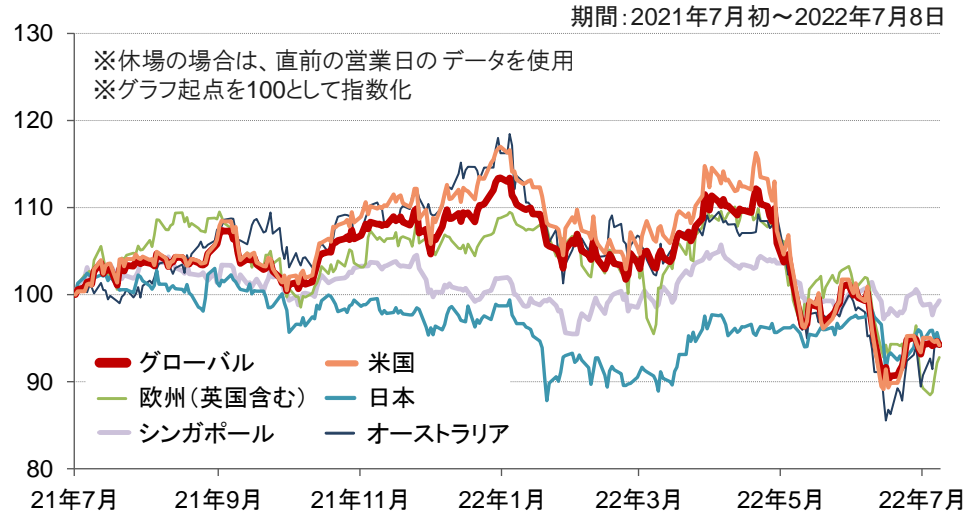


先週(7月4日～7月8日)のグローバルREIT市場の動き

先週のグローバルREIT市場は、前週末からおおむね横ばいとなりました。週半ばは、ノルウェーでのストライキ終了や香港での新型コロナウイルス規制の緩和発表などをを受け、欧州やアジアをけん引役に上昇した一方、金曜に発表された米雇用統計を受け、米国における利上げ観測が高まったことなどが、REIT市場の重石となりました。

- 米国REITは、6月のFOMC(連邦公開市場委員会)の議事要旨が公表され、7月の会合で0.5～0.75ポイントの利上げが適切と考えていることや、インフレ圧力が高まり続ける場合には、一段と引き締めの政策が必要と認識していることなどが示されたほか、6月の非農業部門雇用者数が予想を大きく上回る内容となり、7月も政策金利が0.75ポイント引き上げられるとの見方が強まったことなどが嫌気され、やや軟調な推移となりました。
- 欧州地域では、ユーロ圏REIT(前週末比+3.5%)、英国REIT(同+4.3%)ともに堅調な推移となりました。欧州の天然ガス価格急騰の一因となっていたノルウェーの石油・ガス業界の労働者によるストライキが、政府の介入により短期間で終了したことや、英国のジョンソン首相が辞任を表明したことを受け、政治が安定に向かうとの期待などから、景気後退懸念が和らいだことなどが好感されました。

各国・地域のREIT価格の推移



各国・地域別のREIT市場および為替の動き

● 2022年7月8日時点(1週間前=7月1日、3か月前=4月8日、6か月前=1月8日、1年前=2021年7月8日、3年前=2019年7月8日) なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

国・地域	先週末	騰落率(%)				
		週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
グローバル	656.64	▲ 0.0	▲ 14.5	▲ 14.6	▲ 6.9	5.9
米国	1,577.91	▲ 0.9	▲ 16.8	▲ 16.8	▲ 6.7	10.4
カナダ	1,264.26	▲ 0.0	▲ 16.1	▲ 15.1	▲ 10.6	2.4
欧州(ユーロ圏)	542.03	3.5	▲ 14.8	▲ 13.8	▲ 13.1	▲ 21.0
英国	93.45	4.3	▲ 15.3	▲ 14.3	▲ 5.4	5.6
日本	526.35	▲ 0.0	▲ 0.7	▲ 2.1	▲ 7.4	11.3
香港	829.47	1.2	▲ 4.1	▲ 4.1	▲ 10.5	▲ 26.1
シンガポール	746.37	0.5	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 2.2	▲ 0.3
オーストラリア	910.26	3.8	▲ 12.8	▲ 17.1	▲ 6.6	▲ 3.8

為替(対円)	先週末	騰落率(%)				
		週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
米ドル	136.10	0.7	9.5	17.8	24.0	25.2
カナダ・ドル	105.08	0.1	6.2	14.9	20.1	26.6
ユーロ	138.65	▲ 1.7	2.5	5.6	6.7	13.7
英ポンド	163.76	0.1	1.2	4.3	8.2	20.4
香港ドル	17.34	0.6	9.4	17.0	22.7	24.4
シンガポール・ドル	97.35	0.5	6.8	14.2	20.0	21.8
オーストラリア・ドル	93.31	1.2	0.6	12.5	14.4	23.1

※為替の騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス(▲)の場合は円高
※為替レートは、原則としてニューヨークの17時時点のものです。

- 当資料中のREIT価格については、S&P REIT指数のグローバルおよび各国・地域別指数(現地通貨ベース・トータルリターン)のデータを使用しています。各指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、その提供元に帰属します。
- 信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。